

# 安全安心な夏休み明けにむかって(校長あいさつ)

令和3年8月22日

夏休み、子供たちはタブレットを持って帰っていますので、学校ホームページを開いてもらい、上学年にはわかるようなお話をしたいと思います。下学年は保護者の皆様から、かみくだいてお話しただければうれしいです。

## (まずはめあてです)

○9月1日始業にむけて、安全安心なスタートができるように、子供たちや保護者の皆様へのお願いです。

## (コロナの状況から)

○すでにテレビなどで知っているかと思いますが、全国的に感染拡大が続いています。熊本県でも「まん延防止措置」が9月12日まで延長となりました。感染者は8月20日には318人と過去最高を記録し、増加が止まりません。

○いろんなところから「危機的状況」という言葉が聞かれますが、「的」とは「それらしいとかそのような性質がある」という意味。私は「的」は外してもいいくらいきびしくなってきたかと感じます。

○年代別で見ると、高齢者は少なくなっており、これはワクチンの効果だと有識者会議でも言われています。しかし強いデルタ株はこれまでの2倍以上の感染力があり、ワクチンでも100%安心とは言いきれないようです。

○若い人々へのワクチン接種は、まだまだ先のようです。感染した場合、無症状の場合から味や匂いが分からなくなるなどの後遺症が出るなど、様々です。

## (今後の学校での対策について)

○学校においては、検温やマスク消毒などの対策を、みんなでしっかりとやっていますが、無症状だと気づかないうちに広がっていきます。特に若い人が感染した場合、無症状が多いようです。そう考えると、「近くの人は無症状かもしれない」ということも出てきます。とても嫌な感じですが、みんなの健康や命を守るためには、そのくらいの意識をもつのはしかたのないことかもしれません。感染力が高まっている以上、そういう気持ちを持って行動しなければならないかもしれません。

○しかしながら、いくら感染対策をやっていても、かかってしまうことはあります。だれもがかかる可能性があります。かかったことをいやな目で見るとは大きなまちがいです。そんなときは、一日も早い回復をいのってあげることが大切だと思います。

○そこで、学校ではこれまでの対策はもちろんのこと、「給食中（および歯磨きなどマスクを外しているときも含めて）の完全な黙食（だまって食事）」「マスクを外す体育の授業などでは距離をあける」「感染リスクが高まる危険性のある学校行事の検討」「万が一、学級閉鎖等をせざるをえなくなった場合は、オンライン授業を実施する」などを進めていきます。

どうぞご理解ください。そして、9月1日、元気で再会しましょう。

（付け加え）添付した文書は、熊本県教育長からの子供たちや保護者の皆様へのメッセージです。あわせてお読みください。